

東海環状自動車道(西回り) 各区間の状況

区間	延長	主な状況	備 考
関広見IC ～ 山県IC	9.0km	2020年3月20日開通	
山県IC ～ (岐阜IC)	6.1km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中 岐阜山県第一TN工事を推進中	2024年度 開通見通し
(岐阜IC) ～ (糸貫IC)	5.6km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
(糸貫IC) ～ 大野神戸IC	6.8km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
大野神戸IC ～ 大垣西IC	7.6km	2019年12月14日開通	
大垣西IC ～ 養老JCT	6.0km	2012年9月15日開通	
養老JCT ～ 養老IC	3.1km	2017年10月22日開通	
養老IC ～ (北勢IC)	18.0km 岐阜県区間9.0km 三重県区間9.0km	【用地】 用地取得中 【調査】 埋蔵文化財調査、橋梁詳細設計を推進中 【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	2026年度 開通見通し ※1
(北勢IC) ～ 大安IC	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事を推進中	2024年度 開通見通し ※1
大安IC ～ 東員IC	6.4km	2019年3月17日開通	
東員IC ～ 新四日市JCT	1.4km	2016年8月11日開通	

【延長】未開通:国土交通省の事業計画延長による 開通済:中日本高速道路(株)の管理延長による ※1:用地取得等が順調な場合

<トピックス>

■関広見IC～山県IC 開通



2020年3月20日(金)、東海環状自動車道 関広見IC～山県IC間が開通しました。

■養老IC～北勢IC(仮称)の開通見通し公表



東海環状自動車道 養老IC～北勢IC(仮称)の開通見通しを公表しました。2026年度の開通に向けて整備を進めます。

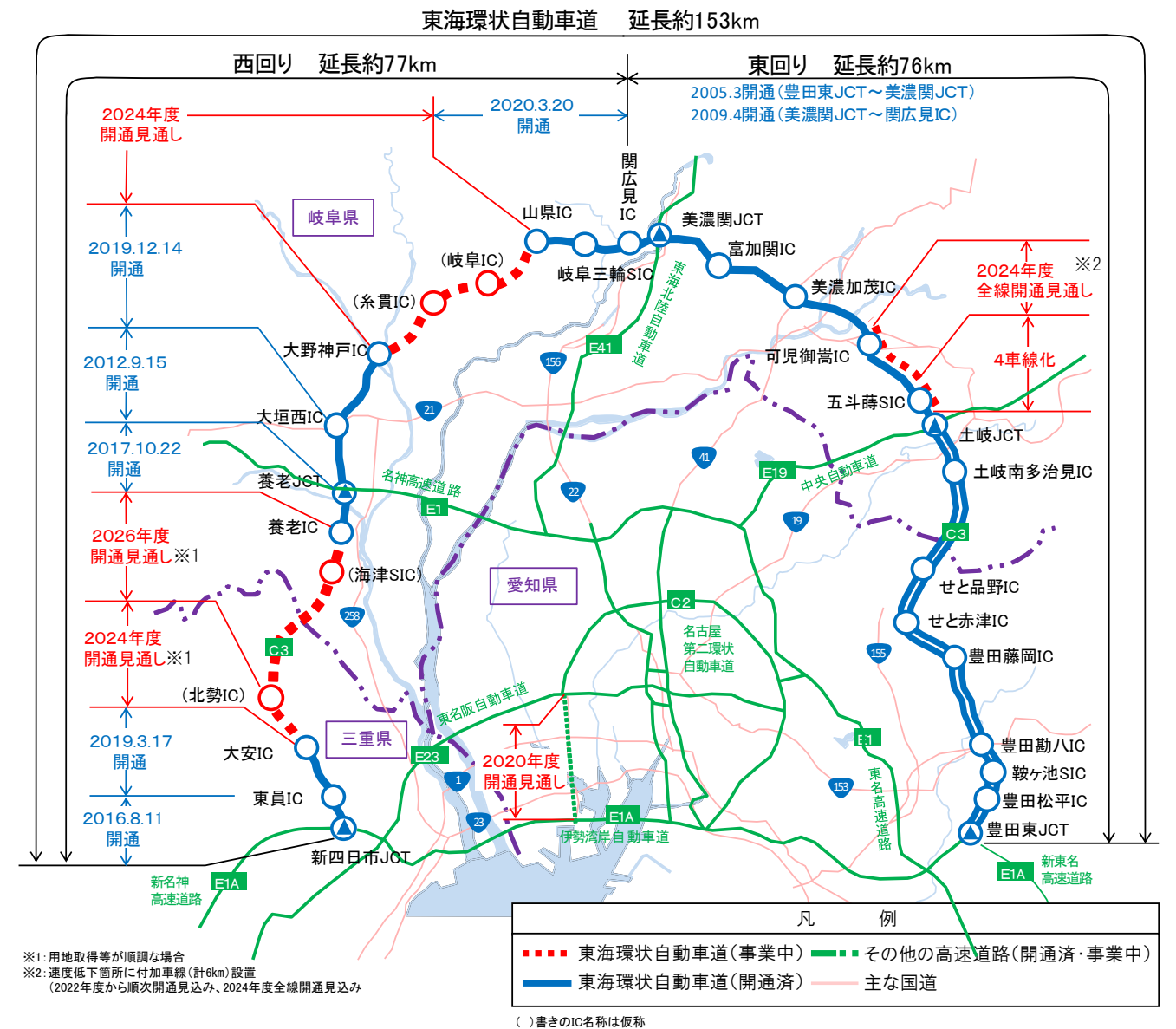
東海環状自動車道

ダイジェスト版
2020年4月1日

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約153kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。



※1:用地取得等が順調な場合
※2:速度低下箇所に付加車線(計6km)設置
(2022年度から順次開通見込み、2024年度全線開通見込み)



愛称「MAGロード」
三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせ「MAGロード」と命名されました。マグネット(磁石)のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省 中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

岐阜国道事務所
公式Instagram
(QRコード)



北勢国道事務所
公式Twitter
(QRコード)

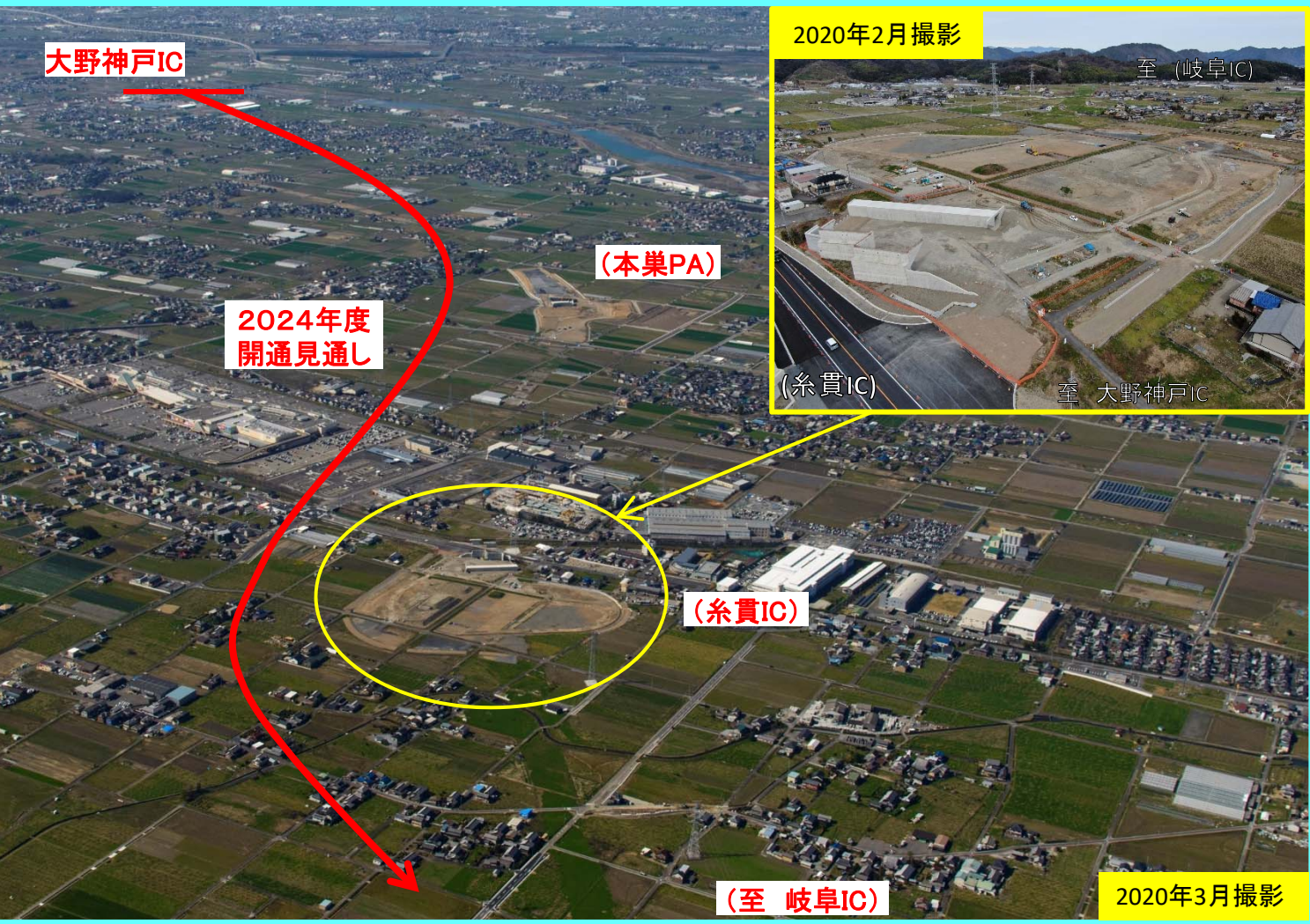
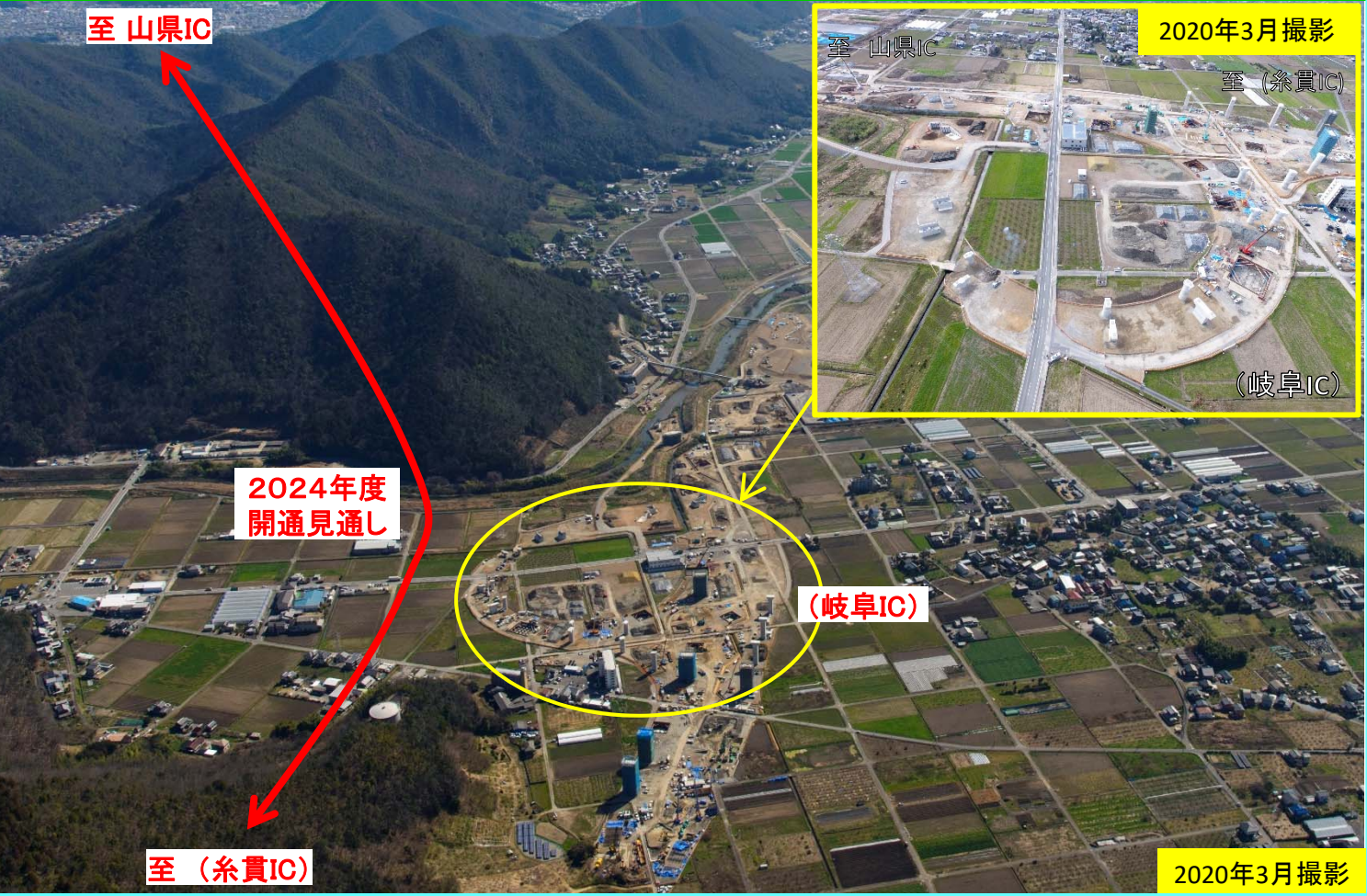


東海環状自動車道(西回り)現場状況

ダイジェスト版
2020年4月1日

■山県IC～大野神戸IC

2024年度開通見通し



養老IC～(北勢IC)

2026年度開通見通し



■(北勢IC)～大安IC

2024年度開通見通し

